

常なる磐

つねなる いわ season II

令和3年12月10日(金)

その2

◇ 本校の NEW シンボル

本校の新しい「シンボル」を紹介する。



見覚えのある看板だ。

外装工事前、校舎の3階ベランダ外側に掲げられていた看板を移設した形だ。

数年前、学校が独自に設置したこの看板。市役所建築課の外装工事前調査で校舎掲示規格からのずれが分かり、新たに作り直していただけることとなったため、廃棄される予定だった。

そんな折、校舎の外装工事の話をしている中で、「せっかくだから別の場所に移設しよう」との中根社教委員長長の提言を受け、譲り受けたものだ。

看板は、1枚の実寸が1m40cm四方と大きく、教科発泡版と金属板のサンドイッチ構想でかなり丈夫。文字の部分は塗装ではなくシール圧着で塗装の剥がれもなく、鮮やかだ。十二分にリユースが可能であり、「さて、どこに移設しようか」という場所の算段に入り、決着したのが校地北側の植栽法面の上部である。



看板が映えている。文字のごとく、【緑に囲まれてこそ生きる看板】なのだ。

撮影の方向（見る角度）を変えてみよう。

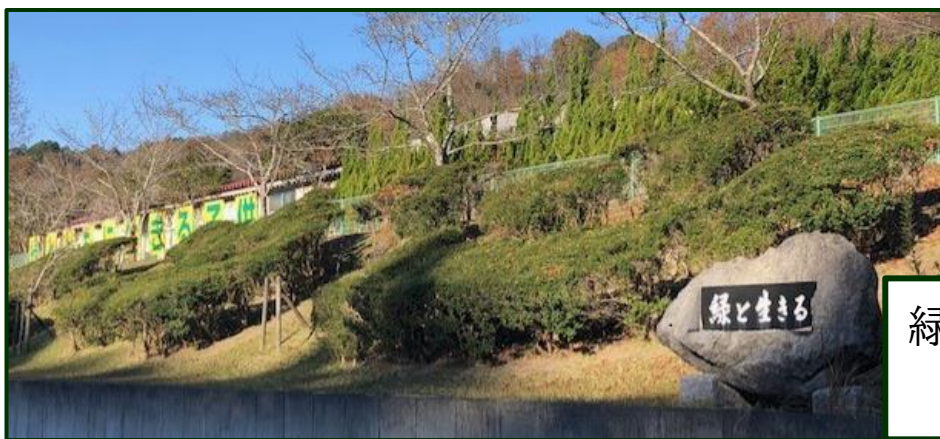
◆西側から



◆東側から



緑化表彰記念碑、校名「トキワヒガシ」と相まって、三位一体を形成している。



緑化日本一表彰記念碑

緑と生きる

看板取り付け作業は、山田校務員と加藤校務主任の手によるもの。有難い。



強風で看板が飛ばされないよう、太い針金に加えて番線も利用し、がっちり固定されている。看板まで手作りの、まさに【手作り NEW シンボル】なのである。

